

# R7年度 活動報告

広井沙希

.....

所属：公益財団法人澁川市まちづくり財団

## 自己紹介

広井 沙希

hiroi saki

出身：新潟県小千谷市

好きなこと：子どもと公園遊び

お寺、神社巡り

群馬の山の景色をみること

任期：R7年5月～

担当分野：まちづくりプロモーター



# なぜ渋川市に？

## 移住の決断

- 雪が少なく災害に強い、安心できる子育て環境
- 都市と自然が共存する「ちょうどいい場所」



## 協力隊に応募したきっかけ

- 子どもたちが育つこの街をもっと元気にしたい
- ダンスを通じて培った「プレーヤー」と「裏方」の経験を、  
渋川のイベント運営に活かしたい



## 私が感じた魅力と課題

### 渋川市の魅力

- 「渋川をより良くしたい！」  
という  
市民や事業所の皆さんの熱い思い

### まちづくり財団の魅力

- 長年蓄積された安定した運営実績
- 市内各地にある多くの管理施設

### 渋川市の課題

- 個々の活動が孤立していて  
上手く繋がっていない

### まちづくり財団の課題

- 歴史がある一方で内容が固定化
- 新しい層（若者・移住者・子育て世代）との接点がまだ少ない

## 1年目の目標

# 次世代に繋がる「賑わい」の土台作り

### 1. イベント運営のノウハウの取得

- 財団の安定した運営実務を学ぶ
- 子育て世代向けのイベントを企画・実施する

### 2. 地域と財団の繋がりを強く

- 単なる「行事で終わらせず、準備から当日まで「対話」を重視する
- 多様な層と「顔の見える関係」を築き、若者や子育て世代の窓口になる



## 企画イベント①

(8月開催)

# 大きなキャンバスに夢とふるさと渋川を描こう

## 企画への思い

- ・家ではできない「非日常」の体験を子どもたちに
- ・「アートに触れる」×「全身で体を動かす」楽しさを

テーマ別の巨大ロール紙をキャンバスにした

参加型アートイベントを市民会館で開催!!

1歳から小学生まで定員40名満員

《事前申込制》  
参加費  
無料  
定員：40名程度

日程  
8/23(土)  
10:00～  
正午  
渋川市民会館  
小ホール

大きなキャンバスに  
夢とふるさと渋川を描こう

大きなロール紙に手や筆を使って  
自由に絵を描こう!!  
(幅90cm×長さ5mのロール紙複数枚にみんなで自由に絵を描きます)

出来上がった作品は9月13日(土)に渋川市民会館で行う  
しながわアニバーサリーフェスタ  
～ふるさと渋川を食と音楽と芸術で楽しむ～  
にて展示します!!

【募集期間】  
8月2日(土)9時～15日(金)正午  
※期間内であっても定員に達次第  
募集を締め切らせていただきます

【対象者】  
市内在住の小学6年生まで

《持ち物》  
汚れてもよい服  
手拭きタオル  
※服の汚損等については  
当財団では責任を負いかねますので  
必ず上記服装でご来館ください

詳細、  
申込は  
こちら

主催 (公財)渋川市まちづくり財団  
問合せ 0279-25-7070  
(文化事業課まちづくり係)



## イベントの様子



家ではできない体験をさせることができて良かった



大きな紙に描くのが楽しかった!!



## 企画イベント②

(9月開催)

# しぶかわアニバーサリーフェスタ

～ふるさと渋川の未来を食と音楽と芸術で奏でる～

## 企画への思い

- ・子どもが楽しめるのはもちろん、大人も一緒にわくわくできる場所を
- ・渋川市合併20周年！「渋川っていいな」とみんなが街に愛着を持てる機会に
- ・イベントを通じて、渋川で活動する人、住む人と深く繋がりたい





## イベントの様子

### ～地域の協力で実現した「食・音楽・芸術」の祭典～

- ・ 来場者数：延べ2,000名超
- ・ 運営協力：ユースセンターよはくの学生ボランティア  
  渋川市地域おこし協力隊  
  渋川市



- ・ 地域の協力によるコンテンツ

【食】：市内事業者による飲食出店、地元農家協力による「野菜詰め放題」

【音楽】：地元演奏・ダンス団体、地元出身シンガーほか

【芸術】：地元高校書道部（書道パフォーマンス）、地元画家（作品展示）

## イベントの様子



渋川女子高等学校  
書道部



ユースセンター  
よはくの皆さんの  
運営コンテンツ

渋川市出身  
シンガーソングライター  
さとう麻衣さん

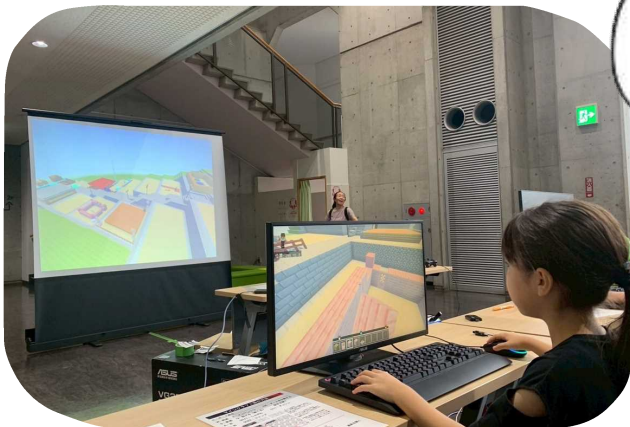


縁日飲食出店  
14 店舗

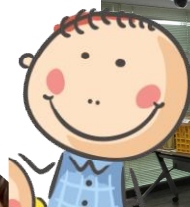




## イベントの様子



今までにない会館の活用  
をしていて関心した



いろんなことが体験  
できて楽しい!!



## 手応えと課題

### ～予想を上回る反響と、イベントと日常で見えた課題～

#### ■手応えと発見

- ・魅力的なコンテンツがあれば、施設には多くの人が集まる
- ・アイデア次第で、施設の使い道はさらに広がる

#### ■見えてきた課題

- ・運営面：想定以上の賑わいに対し、当日の受け入れ体制の不足
- ・日常の課題：イベントがない日は利用頻度が低く、人が集まりにくい  
⇒「場所はあるがそこに行く理由が足りない」

#### ■解決の方向性

- ・施設をただ貸し出すだけでなく、「行きたくなるイベント」を仕掛け、施設のファンを増やす

## 今後の展望

### ～「イベントの場所」から「みんなの居場所」へ～

#### ■ 日常的な賑わいの創出

- ・ イベントがない日でも、ふらっと立ち寄りたくなる仕掛け作り

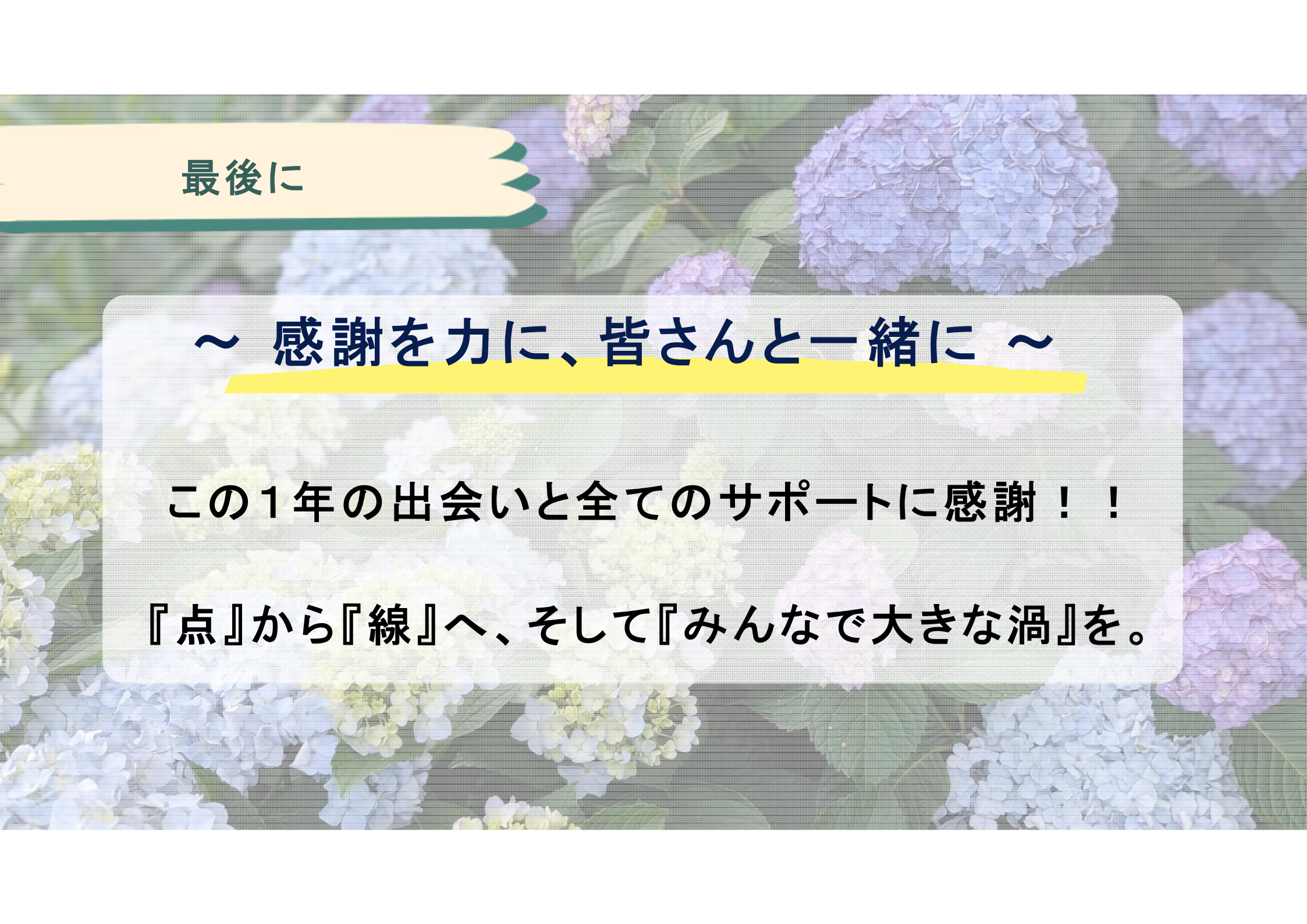
#### ■ 情報の「見える化」と発信

- ・ 「何をやっているのか分からない」を無くす。SNSや掲示板を活用し、施設の「楽しそうな空気」を外へ届ける

#### ■ 地域との「共創」

- ・ イベントで繋がった学生や団体が、自主的に「ここで何かやりたい」と思えるサポート体制の構築





最後に

～ 感謝を力に、皆さんと一緒に ～

この1年の出会いと全てのサポートに感謝！！

『点』から『線』へ、そして『みんなで大きな渦』を。



ご清聴ありがとうございました

